



## 心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性と安全性を検証する後方視研究

2021年1月1日から2024年1月15日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて心房細動に対するカテーテルアブレーションを施行した20歳以上の患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性と安全性を検証する後方視研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2021年1月1日より2024年1月15日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、心房細動治療のためカテーテルアブレーションを受けられた患者さんの治療の有効性と安全性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の間い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性と安全性に関する研究  
研究期間：研究実施許可日～2025年3月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 助教・医員 藤本雄飛

### (2) 研究の意義、目的について

当院の心房細動症例におけるカテーテルアブレーションの有効性と安全性を評価し、不整脈の非再発率や手術時間、合併症率などを検証します。心房細動に対するカテーテルアブレーションの有効性、安全性が認められれば、心房細動患者さんの予後改善につながる可能性があります。合併症の発症率、どういった患者さんに起きやすいかなどを解析することで将来の合併症率の低減につながると考えます。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年1月1日より2024年1月15日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた患者さんを対象といたします。この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

- ・年齢、性別、体重、内服薬内容、入院時バイタルサイン（血圧、心拍数など）、既往歴、心房細動を指摘されてからの期間、基礎心疾患（原因となっている心臓の病気）、心房細動が再発していないかなどのカテーテルアブレーション後の経過
- ・採血データ（腎機能、BNP（心臓から分泌されるホルモン）など）
- ・心エコー（左室駆出率（心臓の機能評価の一つ）、左房の大きさ、左室の大きさ、弁膜症（血液の逆流を防ぐ「弁」に障害が起きることで、血液の流れが悪くなる病気）や心嚢液の有無など）
- ・カテーテルアブレーションの治療内容、回数、合併症の有無とその内容など

試料：なし

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 助教・医員 藤本 雄飛  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25676  
メールアドレス：y-fujimoto6081@nms.ac.jp